

No.	一般名	薬効分類	改訂内容
07-040	サイクリックGBセンサー LFSクイックセンサー アセンシアイージー フィルセンサー アセンシアオートディ スクセンサー グルテストセンサー ダイアセンサー Gセンサー グルテストNeoセンサー	743 体外診断用 医薬品	〔警告〕の項に「実際の血糖値より高値を示すことがあるので、以下の患者には使用しないこと。 ・プラリドキシムヨウ化メチルを投与中の患者」を追記し、 〔操作上の注意〕の「妨害物質・妨害薬剤」の項に「プラリドキシムヨウ化メチルにより、実際の血糖値より高値を示すことがある。」を追記した。
07-041	血液検査用グルコース キット 自己検査用グルコース キット（ただし、07 -039、07-04 0に掲げるものを除 く）	743 体外診断用 医薬品	〔警告〕の項に「プラリドキシムヨウ化メチルを投与中の患者において、実際の血糖値より高値を示すおそれがあるので、プラリドキシムヨウ化メチルを投与中の患者における血糖測定値に対する影響について、事前に製造販売業者から情報を入手すること。」を追記した。
平成19年9月21日			
07-042	塩酸アミオダロン（経 口剤）	212 不整脈用剤	〔重要な基本的注意〕の項に 本剤は心臓ペースング閾値を上昇させる可能性があるため、恒久的ペースメーカー使用中、あるいは一時的ペースング中の患者に対しては十分注意して投与すること。また、ペースメーカー使用中の患者に投与する場合は適当な間隔でペースング閾値を測定する旨、及び植込み型除細動器（ICD）を使用している患者において、ICDの治療対象の不整脈が発現した場合、本剤の徐拍化作用により不整脈が検出されずICDによる治療が行われな いおそれがある旨を追記し、 〔副作用〕の「重大な副作用」の項に「肺胞出血」を追記した。
07-043	塩酸アミオダロン（注 射剤）	212 不整脈用剤	〔その他の注意〕の項を新たに設け、「国内経口投与において、ペースメーカー使用中の患者で心臓ペースング閾値が上昇したとの報告がある。また、植込み型除細動器（ICD）を使用中の患者で、ICDの治療対象の不整脈が発現したが、本剤の徐拍化作用により不整脈が検出されずICDによる治療が行われなかったとの報告がある。」を追記した。
07-044	塩酸メチルフェニデー ト	117 精神神経 用剤	〔禁忌〕の項に「褐色細胞腫のある患者」を追記した。

No.	一般名	薬効分類	改訂内容
07-045	塩酸チアプリド	119 その他の中枢神経系用薬	〔禁忌〕の項を新たに設け、「プロラクチン分泌性の下垂体腫瘍（プロラクチノーマ）の患者」を追記し、 〔慎重投与〕の項に「QT延長のある患者」、「QT延長を起こしやすい患者 1) 著明な徐脈のある患者 2) 低カリウム血症のある患者 等」を追記し、 〔副作用〕の「重大な副作用」の項に「QT延長、心室頻拍」を追記した。
07-046	ベルテポルフィン	131 眼科用剤	〔効能又は効果に関連する使用上の注意〕の項の Occult CNV（脈絡膜新生血管）又は minimally classic CNVを有する患者では、本剤の有効性（視力低下抑制）はプラセボと差がみられなかったとの成績がある旨の記載に、海外で実施された臨床試験結果について記載を整備した。
07-047	リオチロニンナトリウム	243 甲状腺、副甲状腺ホルモン剤	〔副作用〕の「重大な副作用」の項に AST(GOT)、ALT(GPT)、 γ -GTP等の著しい上昇、発熱、倦怠感等を伴う肝機能障害、黄疸があらわれることがある旨を追記した。
07-048	フィナステリド	249 その他のホルモン剤	〔副作用〕の項に新たに「重大な副作用」として「肝機能障害」を追記した。
07-049	リン酸ピリドキサル リン酸ピリドキサル カルシウム 塩酸ピリドキシン	313 ビタミンB剤	〔副作用〕の項に新たに「重大な副作用」として「横紋筋融解症」を追記し、 〔小児等への投与〕の項を新たに設け、「新生児、乳幼児に大量に用いた場合、横紋筋融解症、下痢、嘔吐、肝機能異常等の副作用があらわれることがあるので、慎重に投与すること。」を追記した。
07-050	ミグリトール	396 糖尿病用剤	〔副作用〕の「重大な副作用」の項に「腸閉塞様の症状」、「肝機能障害、黄疸」を追記した。
07-051	エチドロン酸二ナトリウム	399 他に分類されない代謝性医薬品	〔重要な基本的注意〕の項の 他のビスフォスフォネート系薬剤による治療を受けている患者において、顎骨壊死・顎骨骨髓炎があらわれることがある旨の記載を本剤でも現れることがある旨に記載を整備した。
07-052	アナストロゾール	429 その他の腫瘍用薬	〔副作用〕の「重大な副作用」の項に「肝機能障害、黄疸」を追記した。
07-053	セフトリアキソンナトリウム	613 主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの	〔重要な基本的注意〕の項に「本剤を投与する場合は、カルシウムを含有する注射剤又は輸液と同時に投与しないこと。〔国外において、新生児に本剤とカルシウムを含有する注射剤又は輸液を同一経路から同時に投与した場合に、肺、腎臓等に生じたセフトリアキソンを成分とする結晶により、死亡に至った症例が報告されている。〕」を追記し、 〔適用上の注意〕の「配合変化」の項のカルシウムを含有する注射剤又は輸液との配合に関する記載を 配合しない旨に記載を整備した。